

第2回 西陣・千両ヶ辻文化検定試験 (中級、上級問題)

◇千両ヶ辻の歴史及び謂われについて最も適当なものを(ア)～(ス)から選びなさい。

(1) 千両ヶ辻の大宮通から東西に交差する西陣のメインストリートの今出川通りがある。
明治45年拡幅され市電の第一期工事が完了し今出川通りとなった。旧名は(1)と呼ばれ北小路とも呼ばれていた。

(ア) 北野社参道通り (イ) 千両ヶ辻通り (ウ) 須磨町通り (エ) 飛鳥井通り

(2) 千両ヶ辻の南側になる大宮通中立売～大宮通一条上ル横神明の辻まで大宮通りの道幅が広い理由を(ア)～(エ)から選びなさい。

(ア) 大東亜戦争末期強制疎開により智恵光院通りと同じく拡幅された。

(イ) 明治33年チンチン電車が中立売通を走るようになり、京都市の道路拡幅整備事業の一環として千両ヶ辻の南側の大宮通は立ち退きにより中立売通まで各幅された。

(ウ) 江戸時代、馬場であった。町内には厩舎も存在した。

(エ) 明治時代荷駄の待機場所として道路の拡幅をした。

(3) 千両ヶ辻の糸屋八町の一つである北之御門町の古来から連綿と続く四家について家名と屋号並びに歴史を表した。・渤海家(八文字屋)居を構えて316年〔元糸割符商人〕・木村家居を構えて274年〔現木村卯兵衛(株)〕・三田村家(菱屋)居を構えて208年〔元生糸問屋〕・仲家(大文字屋)居を構えて93年〔現仲直商事(株)〕

木村家〔現木村卯兵衛(株)暖簾に屋号が表現されている。〕の屋号を答えなさい。

(ア) 大和屋 (イ) 鱗形屋 (ウ) 笹屋(篠屋) (エ) 上菱屋

薬師町の町名の由来はこの地に薬師仏堂があった事に因むが、江戸時代から現代までこの町内は西陣のメインストリートである。問屋と両替商(銀行)がしのぎを削り営み、古来より栄枯盛衰の姿であるこの町内の別名は(4)と呼ばれていた。薬師町・北之御門町は公式な町名であるが、江戸・明治・大正と通称(5)とも呼ばれ、北之御門町の町名は(6)の北の御門があった事に因む。

(4～6) (ア) 出世町 (イ) 浮世町 (ウ) 出入町 (エ) 大店町 (カ) 糸屋町

(キ) 織屋町 (ク) 問屋町 (ケ) 両替町 (コ) 黒田如水官兵衛の京屋敷

(サ) 上杉弾正景勝の京屋敷 (シ) 蜂須賀阿波守の京屋敷 (ス) 豊臣秀吉が造営した聚楽第

(7) 江戸時代中期より西陣織産地の生糸の原料供給を司っていた生糸問屋は主に千両ヶ辻界限に位置する薬師町、北之御門町、石薬師町、観世町、五辻町、桜井町、元北小路町、横大宮町、芝大宮町、元妙蓮寺町で営み、8～10町を総称して(7)と呼ばれていた。

(ア) 糸屋八町 (イ) 糸屋十三町 (ウ) 糸屋二十町 (エ) 糸屋八百八町

(8) 現在の西陣の生糸問屋のルーツと言われる四つ「のうれん内」系統は、大文字屋、上菱屋、菱屋、(8)であると言われている。

(ア) 大和屋 (イ) 鱗形屋 (ウ) 八文字屋 (エ) 近江屋

(9) 江戸幕府は慶長四年(1604)西陣にとって重要な生糸輸入法を初めて制定したが、この制度は(9)である。千両ヶ辻には元禄時代から現在まで続く幕府の許可により輸入生糸を扱う権利を持っていた(10)の渤海家がある。

(9) (10) (ア) 唐糸割符制度 (イ) 外国生糸輸入制度 (ウ) 海外生糸割符制度
(エ) 糸割符制度 (オ) 外国生糸割符商人 (カ) 生糸輸入割符商人

(キ) 唐糸割符商人 (ク) 糸割符商人

(11) 千両ヶ辻の大宮通から西方にはじまる**笹屋町通**がある。笹屋町の町名の起源はこの地に古来より綺麗な笹原が存在したことに因むと伝承され、江戸時代より現在まで西陣織機業の町として存在し江戸時代、新職の町であったため笹屋町通浄福寺から千本通辺り界隈を、異称として (11) と呼ばれていた。地蔵盆での「つくりもの」の町内でもある。

(ア) 今織り丁 (イ) お召し屋丁 (ウ) 着尺屋丁 (エ) 新織人丁

(12) 千両ヶ辻の南側には**名和長年公殉節之地**の石碑が建つ名和児童公園がある。建武中興政治を推し進める後醍醐天皇側に立つ名和長年は (12) の軍勢と戦いこの地で壮絶な最期を遂げたと言う伝承がある。

(ア) 新田義貞 (イ) 足利尊氏 (ウ) 足利直義 (エ) 高師直

(13) **一条戻り橋**で平安時代中期、摂津源氏四天王の筆頭である渡辺綱が女に化けた鬼の手首を切り落とした伝説は余りに有名である。摂津源氏の四天王(渡辺綱、坂田金時等)を従えていた棟梁の名を答えなさい。

(ア) 源満仲 (イ) 源頼光 (ウ) 源義家 (エ) 源頼信

(14) **一条戻り橋**に関する事項で該当しないものを一つ答えなさい。

(ア) 橋を渡ると極楽浄土に行ける伝承がある。 (イ) 陰陽師の安倍晴明と関係が深い。

(イ) 嫁入り前の女性は、この橋を渡ってはいけないという伝承がある。

(ウ) 大東亜戦争中の応召兵とその家族は無事帰還を願ってこの橋を渡りに来た。

(エ) 秀吉の朝鮮出兵(文禄の役)の時代、諸将の軍勢は無事帰還を願ってこの橋を渡り肥前名護屋めざして出征した。

(15) 明治元年(1868)江戸を東京と改称。天皇が東京へ行幸し江戸城を皇居と定められたが、別れを惜しむ京都市内の各町内に対し菊の御紋入りの下賜品が授与された。どの様な下賜品か答えなさい。現在も千両ヶ辻の二町内に存在する。

(ア) 飾り皿 (イ) 花器 (ウ) 盃 (エ) 香炉

◇神社・寺院・史跡について最も適当なものを(ア)～(エ)から選びなさい。

(16) 今出川通堀川東入ルに位置する**白峯神宮**は、明治天皇の命により飛鳥井家の跡地に明治元年創建された。御祭神は (16) の敗者となり讃岐(白峯)に配流された崇徳上皇である。 (16) (ア) 保元の乱 (イ) 平治の乱 (ウ) 鹿ヶ谷事件 (エ) 壇ノ浦の戦い

(17) 西陣郵便局向い嘉楽中学校の前(般舟三昧院境内跡地)に「**禁裏道場蹟**」の石碑が立っている。何の道場があったか答えなさい。

(ア) 禁裏に使える武者の剣術の道場 (イ) 禁裏に使える武者の弓道の道場

(ウ) 禁裏に使える武者の柔術の道場 (エ) 禁裏の仏の道(法会)を行う場所

くぎぬきさん(釘抜地蔵)と西陣の人々から信仰を集めている寺院の寺名は (18) で、大念仏狂言で知られる千本えんま堂の寺名は (19) である。百々(どど)御所(にんぎょうでら)と呼ばれる臨濟宗系の門跡寺院の寺名は (20) である。

- (18) (ア) 瑞雲院 (イ) 引接寺(いんじょうじ) (ウ) 雨宝院 (エ) 石像寺(しゃくぞうじ)
 (19) (ア) 大報恩寺 (イ) 引接寺(いんじょうじ) (ウ) 浄光寺 (エ) 石像寺(しゃくぞうじ)
 (20) (ア) 大聖寺 (イ) 宝鏡寺 (ウ) 宝慈院 (エ) 光照院
- (21) 千両ヶ辻界隈に位置する寺院で最も古くからその地にある寺院を答えなさい。
 (ア) 浄福寺(浄土宗) (イ) 智恵光院(浄土宗) (ウ) 慧光寺(日蓮宗)
 (エ) 長栄寺(浄土宗)

- (22) 西陣には類似した寺名で市街に現存する最古の本堂遺構(国宝)があり多くの重要文化財の仏像が安置されている**大報恩寺(千本釈迦堂・真言宗)**と小川通寺之内下ルに位置し平安時代鑄造の名鐘(重文)が保存されている**報恩寺(浄土宗)**がある。数ある寺宝の一部を列挙した。この中には通称にも引用され豊臣秀吉と拘りのある有名な寺宝(22)がある。当寺近くに日蓮宗 大本山妙顕寺があり江戸中期の絵師で琳派の担い手で西陣織の図柄に影響を与えた(23)の筆による「松竹梅図」がある。当寺塔頭の泉妙院には(23)、乾山兄弟の墓所がある。 (22) (ア) 法然上人画像 (イ) 一遍上人筆六字名号
 (ウ) 後陽成天皇宸筆六字名号 (エ) 寅年の正月に限り公開される「鳴虎」の図
 (23) (ア) 俵屋宗達 (イ) 酒井抱一 (ウ) 鈴木其一 (エ) 尾形光琳

◇豊臣秀吉に関する問いで最も適当なものを(ア)～(カ)から選びなさい。

- (24) 今出川通千本西入ルに**浄土院(別名湯沢山茶くれん寺)**がある。(24)が北野大茶会の帰路、この寺に立ち寄り茶を所望した処、庵主が茶の湯に未熟なために白湯ばかり出しので(24)は、ますます茶を要求した。そのため「湯沢山茶くれん寺」という一言が別名になった。(ア) 片桐且元 (イ) 豊臣秀次 (ウ) 豊臣秀長 (エ) 豊臣秀吉
- (25) 聚楽第の存在はわずか九年足らずの存在であったが、当時日本で布教活動をしていたポルトガル人宣教師(25)の著書『日本史』は聚楽第に関する貴重な史実を述べている。
 (ア) フランシスコ・ザビエル (イ) オルガンティノア (ウ) ルイスフロイス
 (エ) レッサドロ・ヴァリニャーニ
- (26) 豊臣秀吉に高野山で自刃させられた甥の豊臣秀次の菩提を弔うために生母(秀吉の姉)の瑞龍院日秀尼が建てた**瑞龍寺(村雲卸所)**は近江八幡市に移転したが、移転前は現在の西陣の何処にあったか。
 (ア) 西陣織会館 (イ) 掘川病院 (ウ) 西陣・ハローワーク
 (エ) 京都市考古資料館
- (27) 秀吉による都市改造で寺之内通りが完成、界隈には謂われがあり西陣織と関係の深い本法寺、妙覚寺、妙顕寺、妙蓮寺、本隆寺が存在するが、共通する宗旨は何かを答えなさい。
 (ア) 日蓮宗 (イ) 浄土宗 (ウ) 禅宗 (エ) 天台宗
- (28) 千両ヶ辻の大宮通り今出川下ルに大宮通りを東西に交差する**元誓願寺通り**がある。天正年間に秀吉の都市改造により誓願寺は現在の新京極の地にある。通り名の所縁になった元の**誓願寺**は現在のどの辺りにあったか答えなさい。
 (ア) 西陣織会館付近 (イ) 元誓願寺通小川付近 (ウ) 元誓願寺通智恵光院付近
 (エ) 千両ヶ辻付近
- 聚楽第**破却後秀吉が実施した天正地割により聚楽第内に位置した一条通り及び中立売通より始まる南北の通りで、新たに開発されたと推測される松屋町通り、土屋町通り(29・30)がある。
 (29) (30) (ア) 大宮通り (イ) 日暮通り

(ウ) 智恵光院通り (エ) 裏門通り (オ) 浄福寺通り (カ) 千本通り

◇天保・幕末時代について最も適当なものを (ア) ~ (エ) から選びなさい。

(31) 幕末前京都も天保の大飢饉に見舞われ、千両ヶ辻界限も餓死者発生の様で、飢渴に悩む織職人のみの為に三井・大丸・蛭子屋・白木屋等の大店方仲買と五辻町の大店生糸問屋が持ち寄って千両ヶ辻近くの元誓願寺通の社寺の (31) で粥施工を実施した。米不足のこともあり目の玉が映る程のうすい粥であったと伝承されている。

(ア) 晴明神社 (イ) 智恵光院 (ウ) 興徳寺 (エ) 浄福寺

(32) 文久の時代千両ヶ辻近くの葎屋町通一条下ルの生糸問屋 (大和屋庄兵衛) が新撰組の (32) らに攘夷信征を実現するため焼き討ち狼藉を受けたと伝承されている。

(ア) 藤堂平助 (イ) 芹沢鴨 (ウ) 永倉新八 (エ) 島田魁

(33) 慶応二年 (1866) 坂本龍馬は禁門の変後、京・薩摩屋敷 (現同志社大学今出川校地) で (33) に対し薩長の和解を説得した。

(ア) 桂小五郎と西郷吉之助 (イ) 桂小五郎と近藤勇 (ウ) 高杉晋作と大久保利通
(エ) 大村益次郎と小松帯刀

(34) 慶応二年 (1866) 坂本龍馬の斡旋で薩長同盟の密約が、薩摩藩家老小松帯刀邸で締結されたと伝承されているが、その屋敷は現在のどの辺りか。

(ア) 晴明神社 (イ) 白峰神宮 (ウ) 西陣織会館 (エ) 一条戻り橋東側

◇今宮神社と桂昌院について適当なものを (ア) ~ (エ) から選びなさい。

(35) 千両ヶ辻地域の氏神様である今宮神社の祭礼は紫野御霊会が起源と考えられている。その起源はいつの時代か答えなさい。

(ア) 平安時代中期 (イ) 鎌倉時代初期 (ウ) 南北朝時代 (エ) 応仁の乱前

江戸時代千両ヶ辻界限の八百屋の娘として生を受けた桂昌院 (幼名お玉) は (36) の側室であった。将軍・徳川綱吉の生母でもある。美服禁止令の影響で不況の西陣と今宮神社が荒廃していることを、伝え聞き元禄7年 (1694) 社殿造営や祭用の牛車・鉾の寄進し西陣下級機業家救済のため (37) をした。この時代世間を揺るがす大事件 (38) が起こった。お玉の名は玉の輿の語源になった。

(36) (ア) 二代将軍・徳川秀忠 (イ) 三代将軍・徳川家光 (ウ) 四代将軍・徳川家綱
(エ) 六代将軍・徳川家宣

(37) (ア) 粥施行 (イ) 新規に大奥から織物の発注 (ウ) 下等品の織物の買い上げ
(エ) 救助米の支給

(38) (ア) 島原の乱 (イ) 大塩平八郎の乱 (ウ) 浅野長矩による「松の廊下事件」
(エ) 大飢饉

◇西陣及び西陣織について適当なものを (ア) ~ (エ) から選びなさい。

(39) 西陣織産地の主たる生産は帯地の (38) である。

(ア) 袋帯 (イ) なごや帯 (ウ) 袋なごや帯 (エ) 丸帯

(40) 幕末、近世の西陣を語る貴重な資料となる (39) は井関相模介政因の著作である。

(ア) 西陣研究 (イ) 西陣史 (ウ) 千両ヶ辻物語 (エ) 西陣天狗筆記

【出題者 仲 治實 (大文字屋治實)】